

「これまでの私とこれからの私」

阿蘇中央高等学校阿蘇校舎 2年 豊田 帆乃花

私は現在バスケットボール部に所属しています。私は高校からバスケットボールを始めたため、周りに比べたらすごく下手です。でも、チームメイトやマネージャーがいるため毎日楽しく練習をさせてもらっています。しかし、困難にぶつかっていないわけではありません。高校に入る前のことです。私は一人っ子ということもあり、両親はたくさんのことを経験させてくれました。けれども、私は今まで小・中学校の部活やその他の習い事もすべて中途半端にし、途中で辞めています。正直に言うとなんか

で一番頑張ったかと聞かれると何もありません。私の両親は幼少期からずっと剣道をしていました。そのため、私も小さい頃から剣道を始めました。でも、私は剣道が大っ嫌いでした。痛いことは嫌い、夏は暑く冬はとも寒い中、なんでしないといけないのだろうとずっと思っていました。小学校の高学年では部活もあり、習い事の習字や塾もあったので、一番嫌いな剣道をさぼるということを覚えてしまいました。今思うと周りのみんなもきついながらにやっているのに、なぜ自分はやろうとしなかったのだろうと思います。しかし、そのときは自分に合わないという何かしらの想いがあったのだと思います。この時期を振り返ると毎日行きたくないと泣いていました。でも、母は大丈夫、頑張るって行ってきなさいと嫌になるほど言ってくれました。私はそれをずっと信じられずにいました。なぜなら、練習に行っても試合には勝てず、剣道の楽しさを知らなかった

からです。これは剣道をしてきた両親のせいではありません。努力しなかった自分のせいでと思います。私の父は高校の教員で今も剣道を教えています。小さい頃の私は、「お父さんは高校生にだけ教えて自分には全く剣道の楽しさを教えてくれない...一緒に素振りもしてくれない...」と父のせいにしていました。それでも、ずっと根に持っていたわけではありません。父は日本一という目標を立て、必死に生徒を教えている姿を見てきたからです。指導者という立場であり、私に教える時間はないからだと思います。私も一度でいいから剣道が上手になりたかったです。

嫌々ながらやっていた剣道を中学二年生の時に辞めました。私は自分の思い通りにいかないと気が済まない性格です。辞めるにあたって、両親とたくさん喧嘩をしました。その時、父に「辞めるのは簡単、でもこれからは剣道という人生はなくなる」と言われたとき、とても心に響きました。しかし、当時は辞めたい気持ちが大きく、剣道は自分の人生にとって必要ないと思っていきました。でも、両親は習い事は絶対に辞めるなとずっと言ってきました。それは社会に出たときに、通用する人間になって欲しかったからです。そのため、両親は「大丈夫と言ってくれたのだと思います。」

私は、中学三年生の時に高校では絶対に三年間部活を続けようと思えました。バスケットボールは、剣道とは違うきつさがあります。でも、やると決めたのでつらいことから逃げるようではだめだと思っています。今はチームに迷惑をかけないように、また仲間を追いつけるように頑張っています。私たちは、一回戦突破という目標を昨年立てました。昨年はプレイヤー五人とぎりぎりの人数で毎日頑張っていました。目標達成することができませんでしたが、しかし、そこから目の色を変え、先生も基礎の大事なところから丁寧に教えて下さり、今年の高校総体では目標を達成することができました。

先生からのコメント

過去の自分の気持ちと向き合いながら、日々成長している帆乃花さん。頑張ったことは何もないと書かれています。リーダーシップや責任感があり何事にも全力で取り組むことができます。ご両親との関わりをとおして、現在では自らが決めた道で努力を続けています。また、人を気遣う力も持っている帆乃花さんだからこそ、悩んだこともあったと思います。自分に自信を持って、今後の更なる飛躍を期待しています。

令和4年度 阿蘇市男女共同参画川柳 入選作品

阿蘇市では、家庭、学校、職場や地域など身近なところですべての人が性別にとらわれず、自由に個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指しています。市内に住んでいる人や通勤・通学している人を対象に、男女共同参画社会を推進するための川柳を募集しました。

応募句数(高校・一般の部 355句、小・中学校の部 349句)の中から、各部より最優秀賞1点、優秀賞10点を男女共同参画審議会にて選定しました。

最優秀賞

《小・中学校の部》

助け合い 男女で作る 新未来

波野小学校6年 志賀 聖斗

《高校・一般の部》

ババ散歩 杖のかわりの ジンジのうで

一般 田上 幸二

優秀賞

《小・中学校の部》

そのことば 命をうばう こわいよね

内牧小学校6年 後藤 琥太郎

らしきとは 十人十色 みんないい

内牧小学校5年 寺本 真未

助けあい 男女で創る 未来地図

内牧小学校5年 廣瀬 竜珀

「ダメだよ」と 注意できる それが友

阿蘇西小学校5年 河瀬 葵

笑顔はね 心の中が うれしい印

波野小学校6年 高宮 侑聖

君の声 届いているよ 「大丈夫」

一の宮中学校2年 友枝 莉子

大事だよ 勇気を持って 止める声

一の宮中学校1年 友田 瑠美

「人の個性」「自分の個性」を 大切に

一の宮中学校1年 福島 陽輝

思いやり 相手の気持ち 分かり合おう

一の宮中学校1年 笹原 詩織

ママとパパ 頼りすぎない いい夫婦

波野中学校1年 高宮 侑奈

《高校・一般の部》

多様性 個性を広げる 可能性

阿蘇中央高校2年 高橋 琳

ありがとう 感謝の気持ちは いままで

阿蘇中央高校1年 西村 美咲

らしきとは? 個人の個性を 大切に

阿蘇中央高校1年 中山 千菜都

家事育児 主婦と主夫で 支え愛

一般 竹原 正人

家事分担 そこで生まれる 家族愛

一般 村上 由悟

「男だけん」「女だけん」は もう言わん

一般 荒木 博美

川柳を 家族で考え よい参画

一般 甲斐 治代

お互いの 良さを引き出し 高め合おう

一般 岩下 和輝

負担家事 名も無き家事を 見える化に!

一般 竹本 理恵

色・服・人 「好き」を伝えて イロトリドリ

一般 畑本 ゆかり

さつまいもとゴボウの きんぴら



器提供：滝室窯

材料 (4人分)

さつまいも 160g ゴボウ 160g
 ニンジン 30g サラダ油 大さじ1
 白ごま 適量 しょうゆ 大さじ1…**A**
 砂糖 小さじ2…**A** みりん 小さじ1…**A**

作り方

- 1 さつまいも、ゴボウ、ニンジンは細切りにする。
- 2 フライパンにサラダ油を入れて中火で熱し、**1**を2～3分炒める。
- 3 **A**を混ぜ合わせて加え、炒め合わせる。
- 4 器に盛り、ごまを振る。

食改冒から一言

さつまいもを加えることで、普通のきんぴらとはひと味違うおいしさになっています。

英会話に挑戦



▲ ALT や高校生と英語を学ぶ児童

10月15日、阿蘇市教育支援センター(旧中通小)で英語体験活動「レッツ・トライ・イングリッシュ」が初めて行われました。市内の小学校5年生・6年生を対象に、英語への関心を高めてもらおうと市教育委員会が企画。

小学生30人が参加し、ALTや支援員とゲームなどを楽しみました。ボランティアで参加した阿蘇中央高生に英語を教わりながら「阿蘇市の好きなお店」の発表にも挑戦。参加した児童は「ゲームやクイズなどとても楽しかった」と話しました。

いつもありがとう



▲ 感謝の気持ちを伝える園児ら

11月16日、あそひかり幼稚園の園児らが一の宮駐在所を訪れ、勤務する警察官に感謝の気持ちを伝えました。11月23日の勤労感謝の日に合わせて、身近なところで働く人に感謝しようと企画されたもので、一の宮駐在所のほか阿蘇中部消防署や通園バスの運転士にも感謝の気持ちが伝えられました。

この日は年中児、年長児合わせて17人が訪問。園児の代表が園児全員で作成した手作りのカレンダーや花束を同駐在所の田淵竜也警部補に手渡しました。

ツール・ド・九州が楽しみ



▲ 門前町商店街でひとやすみ

10月29日、令和5年秋の開催が予定されている自転車の国際大会「ツール・ド・九州」を盛り上げようと「アンバサダーライド2022」が開催されました。県内外から参加した86人が、「ツール・ド・九州」で予定されているコースのうち南小国町から南阿蘇村までのコースを楽しみました。

火災に注意 119 番の日



「秋の全国火災予防運動」に合わせて、11月9日の「119番の日」に消防団非常呼集訓練が実施されました。非常時の消防団の招集時間短縮などのため毎年行われています。実際の火災を想定し、早朝6時から消防



▲ パレードを行った阿蘇中央幼稚園の園児たち
 ◀ 駆けつけた消防団員

団がサイレンとともに指定された集合場所に駆けつけました。

同日午前10時半には阿蘇中央幼稚園の園児による火災予防運動に合わせたパレードも行われました。

全国大会出場者と結果

棒高跳

JOC ジュニアオリンピック
 第53回 U16 陸上競技大会
 (10/21～23 愛媛県上野町)

[阿蘇中央高校]
 1年 志賀 日向子(阿蘇中出身)

民謡

令和4年度民謡民舞全国大会
 (10/27～30 神奈川県川崎市)

[民謡成年部旗戦(梅の組)4位]
 内野 朝美(内牧2区)

11月号全国大会出場者と結果欄に学校名の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

松永 千翠 **正** 阿蘇西小3年 **誤** 内牧小3年

テコンドー

第16回
 全国テコンドープムセ(型)大会
 (10/23 滋賀県大津市)

[男子有段個人規定プムセU30 2位]
 佐藤 太一(一の宮中出身)

[男子有段個人規定プムセジュニア 2位]
 佐藤 響(一の宮中3年)

[男子有段個人フリースタイルO17 4位]
 佐藤 太一(一の宮中出身)

[男子有段個人フリースタイルU17 2位]
 佐藤 響(一の宮中3年)

社員みんなで地域貢献



▲ 防草シートと社員の皆さん

第一生命保険株式会社阿蘇営業オフィスが、景観保持のための防草シートを市に寄贈し、市道化白糖原竹の内線沿いの斜面に施工しました。防草シートは幅4メートル、長さ33メートル。費用はオフィスで働く社員20人が積立てました。

オフィス長の山下理恵さんは「地域のために何ができるかを常に考えている。今後も地域へ貢献していきたい」と話しました。

租税教育に貢献



▲ 松元署長(右)と中村校長(左)

10月14日、阿蘇税務署の松元聖二署長が一の宮小を訪れ、租税教育の推進に対する感謝状を中村賀一校長に手渡しました。一の宮小では毎年開催している租税教室に加え、阿蘇地区租税教育推進協議会による習字やポスターなど租税作品の募集では70点以上を応募するなど、学校全体で租税教育に取り組んでいます。その功績が認められました。